

『脳の機能解剖と画像診断 第2版』 正誤表

このたびは『脳の機能解剖と画像診断 第2版』をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

第1刷（2018年10月15日発行）、第2刷（2020年11月15日発行）におきまして以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに深くお詫び申し上げます。

2024年7月30日作成

刷数	訂正箇所	誤	正	掲載
1, 2	p476・本文右段上部	対象を認識するためには背側路が、空間情報を認識するためには腹側路が存在することがわかっている。	対象を認識するためには腹側路が、空間情報を認識するためには背側路が存在することがわかっている。	2024/7/30